

地域の若年層に対して「内装仕上げ工事」の認知度を 上げ、継続して入職者を増やすための活動

活動期間2014年～2022年

埼玉県内装仕上工事業協同組合（SAIDAC・サイダック）



・受付、開講式



・内装工事座学:吉野石膏(株)・デモンストレーション



・壁LGS組立



・天井LGS組立



・壁ボード貼





・天井板の貼



・壁の貼



・床塩ビタイル貼



・集合写真



・質疑応答

・意見交換会

〈活動成果〉

第1回 平成26年7月24日（木） 会場：ものづくり大学

参加生徒数：18名（内女子1名）

第2回 平成27年7月24日（金） 会場：ものづくり大学

参加生徒数：20名（内女子2名）

第3回 平成28年8月20日（土） 会場：ものづくり大学

参加生徒数：37名（内女子8名）

第4回 平成29年8月24日（木） 会場：ものづくり大学

参加生徒数：41名（内女子8名）

第5回 平成30年8月29日（水） 会場：ものづくり大学

参加生徒数：29名（内女子16名）

第6回 令和元年6月22日（土） 会場：熊谷技能実習センター

参加生徒数：31名（内女子11名）

第7回 第1回目：令和3年8月27日（金） 第2回目：令和3年8月28日（土）

会場：熊谷技能実習センター 参加生徒数：35名（内女子15名）

第8回 令和4年8月27日（土） 会場：熊谷技能実習センター

参加生徒数：32名（内女子8名）

参加生徒数累計：243名（内女子69名）

令和3、4年度内装仕上技能講習会アンケート 抜粋

- ・想像していたより楽しくできた。またやりたい。
- 仲間たちとも協力してできた。肉体労働の大変さがわかった。
- ・クロス、ボード張りなど楽しい道があることを知った。座学より体験のほうが頭に入りやすかった。
- ・今までの授業で体験できなかったことができたので、とても貴重な体験ができました。
- ・色々な内装仕上をプロの方から教えていただくことができとてもすてきな経験ができました。とても楽しかったです。内装仕上についてもっと深く知りたいなと思いました。
- ・学校では体験できないようなことを一日かけて体験させていただき、人が生活していく上でかかせない内装というものがどんなものか知ることができてよかったです。
- ・すべて学校の実習ではやらないことを体験できたのでよかったです。学校で習った内装のことをより詳しく知ることができたのでいい経験になったと思います。
- ・工業高校にいてもなかなかこういったことをすることなどできないので、とても貴重な体験をしたと感じた。
- ・色々な職種を見ることができ、実際にやってみて自分の得意、不向きがわかってよかった。
- ・思ったよりも本格的に体験ができ、内装屋さんもやってみたくなりました。
- ・プロの仕事を間近で見れて良い刺激になった。
- ・はじめは7時間やるのは長いなという気持ちだったのですが、終わってみればあっという間で、とても楽しかったです。また来年も予定があれば行きたいです。
- ・ふだん話や映像でしかみたことがなかった作業を自分の手で作りあげていくのが楽しかったです。今回参加できてよかったです。
- ・今日ここに来る前までは内装というものをほぼ知らなかったが1日を通し内装という仕事の大変さ達成感を知ることができた。
- ・内装の仕事内容がわかったし、仕事のむずかしさ、丁寧さ等学校では学べないことをたくさん学べたので良かった。
- ・内装仕上について詳しく知ることができ進路の参考になった。

令和3、4年度内装仕上技能講習会 意見交換会 抜粋

- ・コロナ渦でしっかりとした講習が出来ませんでした。その為、生徒達はとても喜んでいました。ぜひ来年度も開催をお願いしたい。
- ・建築系はコロナ渦の影響もなく求人数は減少していません。
- ・コロナ渦の影響で去年は学校見学会が出来なかった為に、定員割れを起こした学校がありました。
- ・（内装仕上技能講習会に女の子が多い理由について）学年のクラス男女比の割合は例年通り（1～2割が女子）です。女の子のほうが行動力があるのか？はっきりした理由は分かりません。
- ・離職率が高いことについて保護者が良く思っていない。
- ・卒業後、製造業の友人から話を聞くと現場管理をやっている子が建築を辞めてしまう。
- ・休日や残業手当などにコンプライアンス違反する会社に厳しい見方をしている。
- ・求人目的で学校に来る場合、タイミングは1～2月が良い。
- ・それぞれの会社で受け入れた工業高校生について。
- ・建設業に対するイメージが悪化していることについて。
- ・1班3～4名がバランスが良いと思いました。
- ・この時期（8月下旬）に開催して貰えるのが大変有り難い。
- ・陰湿な生徒もちゃんと参加していた。
- ・卒業生がいたら是非、講師として参加してほしい。
- ・失敗例をわざと作って貰えたら有り難い。
- ・場所は熊谷で無くとも良いと思っています。→技能検定と連動しているので難しいです。
- ・コロナの影響もあって今日、体調不良で10名欠席が出ました。ただ半分は嘘だと思っています。
- ・この講習会はコンテンツとしては完成されていると思っています。他県でやっても通用すると思います。
- ・座学を講習に則した内容にしたらどうでしょうか？→次回修正します。
- ・我々はぶら下がるので大変有り難い。来年も開催宜しくお願い致します。
- ・浦和工業が令和8年に大宮工業と統合されます。（事実上廃校）

〈前回の課題〉

- ① **金銭面**・・・技能検定期間中に開催することで、**費用を圧縮している**。だが依然として切迫している。
- ② **実施場所**・・・**熊谷技能実習センター**が使用できる事によって開催時期に柔軟性が出た。
- ③ **入職者の推移**・・・**54名**が組合会社に入職した。しかし離職者も**27名**ほどいて、今後離職率を下げる事が課題になる。
- ④ **講習指導員の選別**・・・技能検定委員と強固に係性を保つことで協力体制が確立できた。
- ⑤ **組合内での会社方針の格差**・・・新入社員を積極的に取り入れたいと思う会社がより貢献している結果になった。
- ⑥ **他業種との連携**・・・講習会の予算を組合で負担しているため難しい。また、これ以上**工業高校側が負担**と思うことは取り組めない。

〈今後の課題・展開〉

① **開催時期について**・・・前期技能検定に開催したいとすると、開催時期は6月中旬～8月下旬になる。**7月上旬は学校が期末テストのため開催日の候補にならない。**7月下旬がインターンの時期の学校があるため、開催した場合には人数が減る。

② **学校側の担当者について**・・・学校の先生はこれ以上業務を増やしたくない（増やせない）。休日出勤・出張が難しい。**担当を持ってくれる心意気のある先生が少ない。**

③ **離職率（ミスマッチ）を下げる事について**・・・2年生のインターンシップ^o生を通常は1社で3日の研修を行うところを、**組合会社3社で1日ずつ廻った。**基本、高校生は1社しか願書を出せない。不採用の場合、次の会社にエントリーが出来る。3年生に会社見学（1社）に行く機会がある。ただし、その会社（1社）に願書を必ず出すことになる。2年生のインターンの時に興味ある会社（1社）を訪問できる。**インターンは学校によって温度差がある。**

④ **工業高校以外へのアプローチについて**・・・**大学の非常勤講師の手伝い**を令和4年から実施している。

參考資料

〈1日のスケジュール〉

- 9:00 ~ 9:15:指定の部屋で作業着等に替える
- 9:15 ~ 9:30:受付（松坂屋建材(株)でDVD鑑賞）
- 9:30 ~ 9:45:開講式（挨拶3名程度）
- 9:45 ~ 10:05:内装工事座学《講義・DVD》
- 10:05 ~ 10:15:指導員紹介・熊谷技能実習センター実習室に移動
- 10:15 ~ 12:00:天井・壁LGS《手順ごとにデモンストレーション及び実習》
(適宜休憩)
- 12:00 ~ 12:50:昼食（松坂屋建材(株)でDVD鑑賞）
- 12:50 ~ 14:00:天井・壁PB《手順ごとにデモンストレーション及び実習》
(適宜休憩)
- 14:00 ~ 14:10:休憩・自由選択実習の説明
- 14:10 ~ 15:30:自由選択実習（天井・壁LGS天井・壁PB・壁クロス・
床タイル《手順ごとにデモンストレーション及び実習》
(適宜休憩)
- 15:30 ~ 16:00:後片付け（記念写真等）
- 16:00 ~ 16:30:松坂屋建材(株)で閉講式・アンケート記入・質疑応答
- 16:30 ~ :各自解散
- 16:30 ~ :意見交換会（教員のみ）

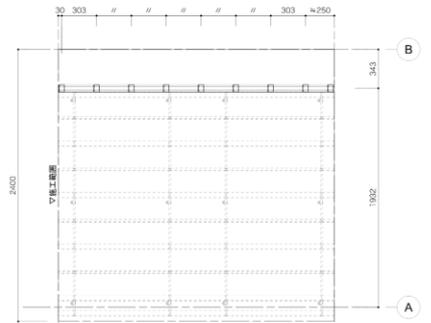
【作成資料・手順】

本日の実習内容

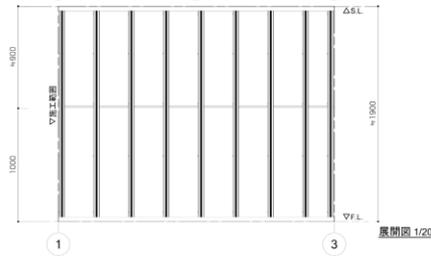
鋼製壁下地

鋼製壁下地の施工手順

- ① 施工箇所の確認
- ② 部材の受け入れ・保管
- ③ 墨出し ※前日に墨出完了
- ④ 上、下ランナーの固定 ※かたさせ、スタッド割り墨出
- ⑤ スタッドの建込み ※かたさせ、スベーター取付け
- ⑥ 振れ止め取付 ※前日にかたする
- ⑦ 点検・検査
- ⑧ 次工程へ



平面図 1/20



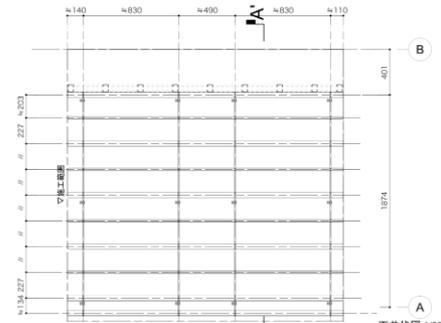
立面図 1/20

本日の実習内容

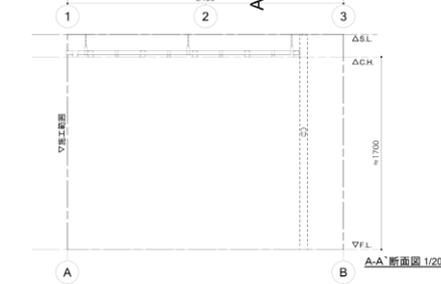
鋼製天井下地

鋼製天井下地の施工手順

- ① 施工箇所の確認
- ② 部材の受け入れ・保管
- ③ 墨出し ※前日に墨出完了
- ④ つりボルトの取付 ※作成して取付け
- ⑤ 野縁受け(チャンネル)の取付 ※かたさせ、割付け記入
- ⑥ 野縁(シングルバー・ダブルバー)の取付 ※W/Aは前日にかたする ※S/Aはかたさせる
- ⑦ レベルの調整・確認 ※ハンガー水系用意
- ⑧ 点検・検査
- ⑨ 次工程へ



天井伏図 1/20



A-A断面図 1/20

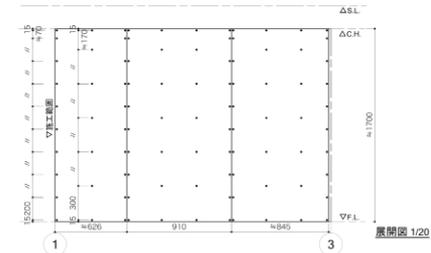
本日の実習内容

壁せつこうボード下地

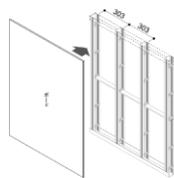
壁せつこうボード下地の施工手順

- ① 下地・他取付け状態の確認
- ② 材料の受け入れ・保管
- ③ 寸法取り
- ④ せつこうボードの加工
- ⑤ せつこうボードの張付け
- ⑥ 点検・検査
- ⑦ 次工程へ

※ビスピッチ定規作成



立面図 1/20



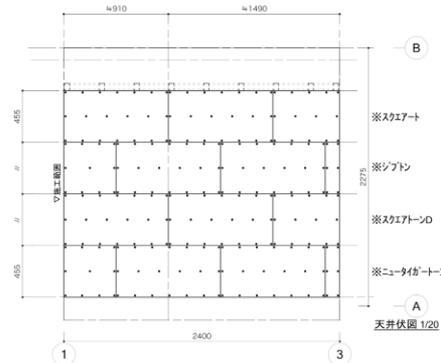
アイソメ図

本日の実習内容

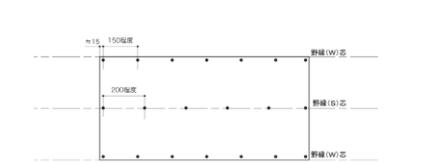
天井化粧せつこうボード

天井化粧せつこうボードの施工手順

- ① 下地取付け状態の確認
- ② 材料の受け入れ・保管
- ③ 割り付けの確認・寸法取り
- ④ 廻り縁の加工・取付 ※前日加工・両面テープ貼り
- ⑤ 化粧せつこうボードの張付け ※スタートでビス位置確認
- ⑥ 端部寸法取り
- ⑦ 化粧せつこうボードの加工
- ⑧ 端部化粧せつこうボードの張付け
- ⑨ 点検・検査
- ⑩ 次工程へ



天井伏図 1/20



※化粧せつこうボード(455mmX310mm)のBに留め間隔

詳細図 1/10

＜インターンの取り組みについて＞

実 習 記 録

8月3日(水) 午前9時00分 ~ 午後16時30分	
8:00 実習時間	実習内容
9:00 入社 設計の話	<p>まず最初に内装工事を事前に建築の設計についてのお話を聞くことができました。その後、清掃工場の建設現場の見学とスズキの店舗の建設現場の見学をしたあと、斎藤工業の方のお話を聞くことができました。</p>
10:00 移動	
11:00 現場見学	
12:00 お昼	
13:00 現場見学	
14:00 移動	
15:00 現場見学	
16:00 移動 退社	
17:00	
18:00	
実習場所 東京都止川市泉町2002番地 東京都昭島市郷地町20目29-12 <small>さいたま市岩槻区加倉</small>	
(出社から退社までを記入)	
反省・感想	
<p>職人さんからのためになるお話を聞くことができてもよかったです。思っていた内装工事とは違うものを実際の現場で見ることができて今後の進路や職種を選ぶために役立てていきたいと思いました。</p>	
自己評価	積極的に取り組めた <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> やや消極的だった <input type="radio"/>

ご担当者所見	ご確認印またはサイン
大変真面目に話を聞いてくれました。 長い人生の中で今後の選択に役に立ってくださる幸いです。	

実 習 記 録

8月4日(木) 午前9時00分 ~ 午後16時00分	
8:00 実習時間	実習内容
9:00 入社 移動	<p>内装工事で壁を作るのですが鉄の柱を立ててそのあとに石膏ボードをつけるという作業を職人さんたちに一から教えていただきながら実際にやってみることができました。</p>
10:00 現場	
11:00 作業	
12:00 お昼	
13:00 現場	
14:00 作業	
15:00 移動	
16:00 退社	
17:00	
18:00	
実習場所 さいたま市立病院旧周産期母子医療センター棟	
(出社から退社までを記入)	
反省・感想	
<p><u>昨日とはまた違ったインターンで</u>いろいろな作業を教えていただきながら実際に材料をとりつけるなどのことをやらせていただきました。将来に役立つスキルを身に付けることができたいと思います。</p>	
自己評価	積極的に取り組めた <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> やや消極的だった <input type="radio"/>

ご担当者所見	ご確認印またはサイン
みんなの話を真剣に聞いて、積極的に作業に参加していました。 これからも頑張ってください。	

実 習 記 録

感 想

8月5日(金) 午前9時30分 ~ 午後15時30分	
実習時間	実習内容
8:00	入社してから社長と社員さんのお話を聞いてから、現場に行き作業工程を教えてくださいながら見学していただきながら見学して、もどってからは内装工事のビデオを見ました。
9:00	
10:00	
11:00	
12:00	
13:00	
14:00	
15:00	
16:00	実習場所
(出社から退社までを記入)	
反省・感想	社長さんと社員さんからためになるお話を聞くことができて <u>将来の職場を選ぶときにも役立つ経験</u> になってよかったと思いました。
自己評価	積極的に取り組めた <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> やや積極的だった <input type="radio"/>

ご担当者所見	ご確認印またはサイン
本日、現場見学及び産学による研修を実施し、途中いくつか質問をしましたが、受入係の対応から真面目に物事を深く考える姿勢が素晴らしいと感じました。一語に地固に残る建物を作る一員にふさわしいです。素直な大人になって下さい。	(株)大黒屋 栗山 豊二 

今回の3日間のインターンもおして、さまざまな方からのお話を聞くことができて、将来どのように仕事や会社と選ぶかのよい経験になったと思います。

実際の現場を自分の目で見ることで、自分がインターンの前に考えていた内装業と実際に見た現場は違っていて、仕事を選ぶときに役立つものになったと思います。

内装業と一括りに言ってもさまざまな職種があって、一つの内装業と言われていたことも知り、具体的にどのようなことをやりたいかも絞れてきて、今回のインターンはとてもよい経験になったと思います。

職人さんが実際にやっているところも間近で見ることが、職人さんのすごさがより一層分かりました。

今回の3日間とてもよい経験になったと思います。

<非常勤としての取り組みについて>

2022年度 ものつくり大学 1学年 仕上基礎および実習Ⅰ 予定表 千葉県講師チーム 川越市講師チーム 所沢市講師チーム

回数	クラス	月 日	曜日	講義内容	担当	担当	担当	全室協 非常勤講師(4人/1日)										
					大塚	三原	高橋	伊東弘樹	川村賢司	秋山敏昭	菅沼金吾	古田 眞	大西俊彦	内海寿生	鈴木美貴	齊田哲也	本橋喜一	古浦昭保
1	A	4月12日	火	①内装仕上・金属工事 座学	○			○										
1	B	4月15日	金	①内装仕上・金属工事 座学		○						○						
1	C	4月14日	木	①内装仕上・金属工事 座学			○								○			
2	A	4月19日	火	②内装仕上・ボード他 座学	○			○	○	○	○							
2	B	4月22日	金	②内装仕上・ボード他 座学		○						○	○	○	○			
2	C	4月21日	木	②内装仕上・ボード他 座学			○								○	○	○	○
3	A	4月26日	火	③墨出し・軽量鉄骨組立1	○			○	○	○	○							
3	B	4月29日	金	③墨出し・軽量鉄骨組立1		○						○	○	○	○			
3	C	4月28日	木	③墨出し・軽量鉄骨組立1			○								○	○	○	○
4	A	5月10日	火	④軽量鉄骨組立て2	○			○	○	○	○							
4	B	5月6日	金	④軽量鉄骨組立て2		○						○	○	○	○			
4	C	5月12日	木	④軽量鉄骨組立て2			○								○	○	○	○
5	A	5月17日	火	⑤ボード張り作業1	○			○	○	○	○							
5	B	5月13日	金	⑤ボード張り作業1		○						○	○	○	○			
5	C	5月19日	木	⑤ボード張り作業1			○								○	○	○	○
6	A	5月24日	火	⑥ボード張り作業2・パテ	○			○	○	○	○							
6	B	5月20日	金	⑥ボード張り作業2・パテ		○						○	○	○	○			
6	C	5月26日	木	⑥ボード張り作業2・パテ			○								○	○	○	○
7	A	5月31日	火	⑦レポート作成	○			○	○	○	○							
7	B	5月27日	金	⑦レポート作成		○						○	○	○	○			
7	C	6月2日	木	⑦レポート作成			○								○	○	○	○

金属工事の内、鋼製壁下地・鋼製天井下地作業の材料と工法を知る。
日本産業規格(JIS)・公共建築工事標準仕様書

内装仕上げ工事の内、ボード張り作業の材料と工法を知る。
日本産業規格(JIS)・公共建築工事標準仕様書

墨出し・鋼製壁下地の組み立て作業
標準仕様書の実践
施工図の内容理解・各種工具の使用法を理解する。

鋼製壁下地の組み立て作業
標準仕様書の実践
施工図の内容理解・各種工具の使用法を理解する。

ボード張りの作業
標準仕様書の実践
施工図の内容理解・各種工具の使用法を理解する。

ボード張りの作業・パテ作業
標準仕様書の実践
施工図の内容理解・各種工具の使用法を理解する。

鋼製下地工事・ボード張り工事に対する考査。
上記をまとめてレポート作成。

授業時間 9:00~12:30 100分授業2コマ(中10分休憩)
2022年度受講者数1クラス約65人
4月29日金曜日 昭和の日は授業があります。

				大塚	高橋	大塚												
A	7月12日	火	ボード・軽鉄解体	○			○	○	○	○								
B	7月8日	金	ボード・軽鉄解体		○						○	○	○	○				
C	7月7日	木	ボード・軽鉄解体			○									○	○	○	○